

義教からの

# 英語教育充実だより

令和3年1月  
山形県教育庁  
義務教育課

## 「言語活動を通した」指導の視点

【令和2年度教育課程研究協議会における山田誠志調査官の説明より】

### 視点1 「言語活動」に取り組ませているか

小中共通

#### 思考・判断・表現させる活動を設定しましょう



言語活動の目的は、「知識及び技能」を活用して、「思考力、判断力、表現力等」を育成することです。

そのためには、児童生徒が「自分で考えること」が大切です。活動前に使わせたい言語材料やヒントの与えすぎを控え、伝える内容や、聞き取ったり読み取ったりすべきことを考えさせましょう。

#### < 中学校の場合 思考・判断・表現させる活動の例 >

コミュニケーションを行う目的、場面、状況等に応じて

「聞くこと」「読むこと」：必要な情報、概要、要点を捉えるような活動

「話すこと」「書くこと」：適切な表現内容を自分で考えて表現するような活動

### 視点2 言語活動に「取り組ませながら」学ばせているか

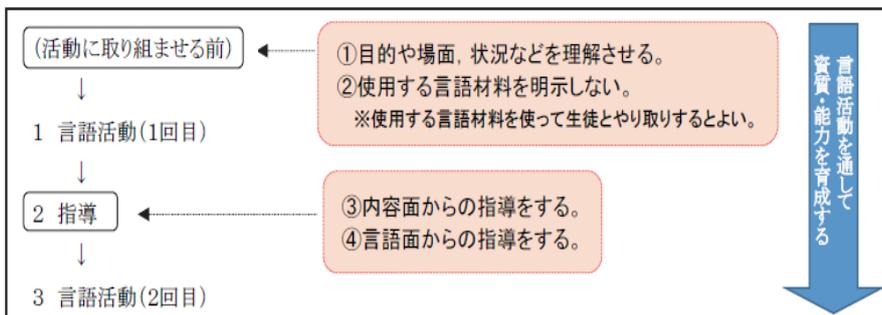
小中共通

#### 言語活動の後の指導を大切にしましょう

言語活動の後に、例えば、活動の一場面を取り上げ、「何を伝えればよいだろう?」「何を聞き取れば(読み取れば)よいだろう?」などと生徒に投げかけ、考えさせましょう。**気付かせる、引き出す指導**は、児童生徒が思考・判断・表現することにつながります。



<言語活動を通した指導のイメージ(『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料)から抜粋)>



#### <参考動画>

文部科学省  
mextchannel

「外国語教育はこう変わる」

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCsze5PvMhQ1TS-jXEZKA4f>

